

鬼才の古賀將之が里帰り

カーネギーホールでの感動を大牟田で

和楽器の奥深い優雅な音色と共に

尺八
古賀將之

和太鼓
ケニー遠藤

環太平洋邦楽コンサート

in 大牟田

2024

6/9日

13:30 開場

14:00 開演

大牟田文化会館 小ホール

23' 10月	カーネギーホールを皮切り
24' 2月	コロラドのオーケストラと共演
24' 4月	サンフランシスコの桜まつりで演奏
24' 6月	最後は大牟田にて演奏

◇ アメリカからの出演者

尺八	：	古賀 將之 + お弟子(カーネギー出)
和太鼓	：	ケニー遠藤(カーネギー出演)
ピアノ	：	長部 正太(スタンフォード大学)
ダンス	：	小椋 蘭香(カーネギー出演)

◇ 日本からの出演者

尺八	：	上津原 丈生(カーネギー出演)
尺八	：	竹井 徹
箏	：	江上 佐和子
筑前琵琶	：	石橋 旭姫
和太鼓	：	太鼓衆「響」

チケット料金

【前売り】一般	3,000円	高校生以下	500円
【当日】一般	3,500円	高校生以下	500円

チケット販売所

大牟田文化会館	大牟田観光プラザ
荒尾総合文化センター	ながす未来館

主催：大南12回生実行委員会 後援：大牟田南高等学校同窓会

後援：大牟田市・大牟田市教育委員会 長洲町教育委員会 荒尾市教育委員会 大牟田三曲協会 西日本新聞社 有明新報社

【お問い合わせ先】大南12回生・実行委員長：武田 義隆 TEL 070-7627-6917

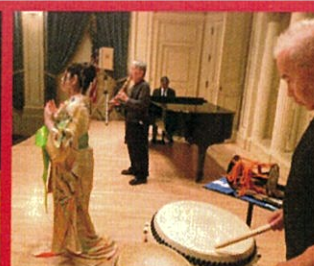
「環太平洋邦楽コンサート」とは、古賀將之がアメリカ・カナダと太平洋を挟んで、日本との懸け橋に尺八を通して、和楽器の普及・拡大に努めており、この企画は一連のシリーズです。

2023年10月18日のカーネギーホールでの演奏会には理由があります。長洲町出身で尺八名人の吉田晴風先生の渡米コンサート(1935)から、丁度100年目を記念したイベントでした。

アメリカに渡って早50年、これからも日本邦楽の世界化をめざしており、この演奏会は吉田晴風先生の情意と夢に沿ったものです。



2018 Concert Tour of Japan



リハーサル風景(カーネギーホール)

1部 演奏者(日本)

尺八 上津原 文生

■ 琴古流尺八鈴慕会(竹号・鈴々)

琴古流尺八を父上津原孝一に手ほどきを受ける。

東京では尺八を青木鈴慕師(人間国宝)に師事し、帰国後は、三味線の故久富一郎師(大牟田市)、故三原幽香師(久留米市)に合奏指導をいただいた。現在は九州流地歌三味線の第一人者、藤井泰和師、川瀬露秋師に合奏のお相手をしていただき古典三曲合奏の指導を受けている。一方、虚無僧尺八(明暗流)のお寺、博多一朝軒にて本曲を修業中である。昨年十月、NYCカーネギーホールでの古賀將之先生のリサイタルに出演させてもらった。



尺八 竹井 徹

福岡県柳川市在住。尺八歴45年。大学時代に京都で尺八部に在籍、琴古流を黒田枯童師に4年間師事。在学中から4年間、日本音楽集団尺八奏者 田嶋直士師に海童道本曲を習う。田嶋師主催の関西音楽集団設立より3年間在籍。帰郷後、上津原孝一師に古典曲と宮城曲を師事。尺八竹風会を10年程主催。博多一朝軒 故磯玄義師と磯玄明師に明暗本曲の指導を受けている。現在一朝軒門人。久留米初音会所属。現在明暗本曲や三曲合奏を主な活動の場とする。「古尺八保存会」事務局。古賀將之の尺八セミナーに過去2度参加。



箏 江上 佐和子

955年 箏曲生田流正派 十時雅久美に入門
967年 日本当道音楽会入門 福島伸子氏に師事
968年 福岡邦楽育成会第1期入会・藤井凡大氏に師事
969年 西日本邦楽合奏団入団
991年 日本当道音楽会 大師範修得
現在] 福岡県立伝習館高校 琴クラブ指導
邦楽合奏団「凜の会」所属
箏曲教室 十時社中 紫音会主宰



筑前琵琶 石橋 旭姫

■ 筑前琵琶日本旭会 大師範、
■ 筑前琵琶筑後旭会kochou代表
■ 日本琵琶楽協会、NPO筑前琵琶連合会会員
昭和55年(1980年)筑前琵琶日本旭会宗範、中村旭園に入門、9歳で初舞台をふみ、師のもと国内外にて演奏。2010年拠点を福岡市から福岡筑後地域に移す。2015年筑前琵琶筑後旭会を立ち上げ筑前琵琶の伝統継承につとめる。毎月どこかで琵琶の演奏会を行っているを目標に小さな演奏会を様々に企画、少しでもたくさんの人に福岡発祥の筑前琵琶の音を未来に繋げる為の種まき活動を行う。



和太鼓 響

太鼓が好き!」...と集まった数名の仲間で、平成6年の春、『太鼓衆・響』は生まれた。当初は、太鼓の数も少なく古タイヤを使っただけの練習。太鼓の音を気にして、三池山に登って練習する事もあった。活動を進めていく中で、少しずつ仲間も太鼓も、さらには応援して頂く方も増え、今では大牟田市近郊のイベントや、お祭り・学校・福祉関係などから、年間80回を超える演奏依頼を頂ける様になり、練習の励みとなっている。太鼓を通して、一人でも多くの方々と触れ合える事を楽しみにメンバー一同、心一つに精一杯演奏に励んでいる。



2部 演奏者(アメリカ)

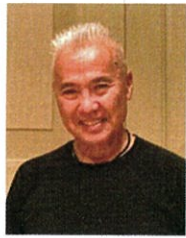
尺八 古賀 將之

1942年福岡県大牟田市にて生まれる。尺八は14歳から父(古賀喜一)に手ほどきを受ける。父は琴古流尺八の名人と言われた長洲町の吉田晴風先生に師事。1973年渡米、それ以来アメリカ、カナダでの演奏活動。1981年に日本音楽学院アメリカ(NPO)を設立。1988年ドイツ主催の世界音楽祭に日本代表として、20都市へ演奏。1989年よりスタンフォード大学、ニューヨーク大学、ハワイ大学、バークレイ大学の講座にて講義と演奏。2018年6月九州、広島、神戸、東京、新潟、北海道で日米の環太平洋コンサート、シリーズを行う。お弟子10名が参加。2023年10月18日ニューヨークのカーネギーホールでの和太鼓と尺八のコラボで演奏。



和太鼓 ケニー 遠藤

ケニー遠藤はアメリカ太鼓界の先鋒を邁進する傑出した太鼓奏者で、演奏はもちろん、作曲者でもあり世界の音楽をも取り込んだ多くのブレンドした新曲を発表し、アメリカ、カナダ、ヨーロッパ、英国、アジアと彼の団員を引き連れて五大大陸を今も活躍し続けている。



ピアノ 長部 正太

■ 米国作詞・作曲家協会正会員(A.S.C.A.P.)
■ 2016年「ウエスタン・スイング栄誉の殿堂」5歳からピアノを始め、17歳で自己のピアノトリオを結成しプロとして活動始める。幅広いジャンルの演奏、作曲や編曲も手がける。1968年にサンフランシスコに拠点を移し、米国のミュージシャンや歌手と共演。2002年ハリウッドのキャピタルスタジオでベースの巨匠「レイ・ブラウン」元カウントペーシーのドラムス「ハロルド・ジョーンズ」とのCD「HAPPY COAT」を制作。2003年スイング・ジャーナル誌の最優秀録音賞獲得。52年のアメリカ生活を経て2020年帰国。吉幾三50周年記念のCD「~ピアノと吉と~」を録音。



ダンス 小椋 蘭香

■ 舞踊会、振付家

Ranko Ogura Dance芸術監督
幼少期から日本文化、芸術に深く関わり育つ。アメリカNew Yorkに移り住みコンテンポラリーダンスなど様々なダンスを学ぶ。これらに関わるダンス作品を創る中で日本発祥の舞踏に興味を持つ。また尺八と日本伝統楽器グループ「Essence」との共演、イベント、国内外のツアーなど幅広く活動する。現在、San Francisco Art Commishon 受賞「Land of Kamuy」を創作中でもある。今後も日本文化、芸術と関わり合いながら新しい踊りを探究していく。

